



# 全国スキー協通信

〒114-0014 東京都北区田端 1-24-22 山柿ビル 3F TEL 03-5842-1931

URL <http://www.mmjp.or.jp/wsaj> e-mail [wsaj@post.email.ne.jp](mailto:wsaj@post.email.ne.jp)

2023年12月1日 No.518 発行責任者 小川洋 編集 芦村憲一

【郵便振込み】口座番号：00180-7-82138 加入者名：全国勤労者スキー協議会

## 全国スキー協 第33期第2回理事会報告

第33期第2回全国理事会を11月12日午後からオンラインにて開催しました。北は北海道から南は福岡県まで24都道府県から33名の役員（会長・副会長・常任理事）と全国理事並びにオブザーバー2名が参加しました。

初めに和田会長から開会挨拶がありました。（抜粋）

今年の気象は本当に異常気象で、11月に入っても25度を超える真夏日が続き過去の記録を更新するところも多く、町中では半袖の人もたくさん見かけます。

「気候危機は、ウィンタースポーツの危機だ！」の認識の元、冬を守るムーブメントとしてPOWJAPANへの参加なども必要だと思います。

いよいよ2023-24スキーシーズンも始まります。11月の全国技術部会や12月の中央研修会の開催に降雪の心配はあるものの全国の各県やクラブでは来るシーズンに向けて万全の準備で多くの行事を成功させ、より多くのスキーヤーにスキー協の良さスキークラブの良さを広げていきましょう。今理事会で大いに議論し楽しいスキー協の発信ができればと願っています。

議長に京都の小山さん、東京の出崎さんを選出し、理事会をスタートしました。

### ●組織部からの報告

1. サマーセミナーについて 日時：2024年8月24日～25日 青森市
2. 全国スキー協ホームページリニューアル 組織アンケートをもとに6月完成に向けて進めます。
3. POWへのサポーターについては年間10万円のブロンズサポーターになることが決定しました。
4. 第50回全国スキー・スノーボード競技大会

場所 湯の丸スキー場 バーンは例年と同じ 日時 2024/2/24～25日、23日前日練習

宿泊 湯の丸高原ホテル、シティオス・地蔵 種目 1日目、2日目とも大回転

クラス 新たに「未就学児（男女混合）家族サポート必」と「競技初体験男子・女子」を追加  
レセプション 会場は確保済（土曜日夜）50回記念でスペシャルな事を行う。

・清澤恵美子さんに前日練習コーチ、セッター、前走、記念講演をOKして貰いました。

・都道府県に目標人数を割り当て

北海道5、青森2、岩手3、栃木3、群馬10、新潟3、埼玉5、千葉3、東京20、神奈川15、静岡3、愛知5、岐阜3、三重2、長野2、石川1、富山1、福井1、大阪4、京都5、兵庫4、奈良1、滋賀4、和歌山3、福岡2 計110人

また、各都道府県から寄せられた組織アンケートを基に特徴点について報告、高齢化の中で工夫をしながら行事を開催している状況が寄せられました。ホームページからの問い合わせや入会が増えてきています。改めて全国スキー協のホームページリニューアルの必要性が増していることを実感しました。

(2-3面に続く)

## ●技術部の報告

初めに教程の伝達について報告された後今期の部会の日程が提案されました。

### ◎技術部会開催予定日

2023.11.10 全国 zoom 技術部会 都道府県技術員  
2023.11.25-26 秋季全国技術部会 ブロック技術員 熊の湯スキー場  
2024.4.13-14 春季全国技術部会 ブロック技術員 横手山スキー場

また、次世代の技術部を担う人材発掘と人材育成について説明がありました。今期はデモンストレーター選考会を北海道でも開催する事が提案されました。

### ◎デモンストレーター選考会関係開催日

2024.1.27-28 デモンストレーター選考会 北海道会場 北長沼スキー場  
2024.3.2-3 デモンストレーター養成特別講習会 横手山スキー場  
2024.3.17 デモンストレーター選考会 志賀高原会場 横手山スキー場

2023 年春の技術部会で来シーズンのテーマは【ターン後半で確保した足場を利用し、切り替え時に前に出てターンポジションまで行くことで谷回りターン技術につなげる】

同じテーマで3シーズン続けることとしました。

## ●指導員部からの報告

まず、年次登録について詳しく説明がありました。

9月末を締切りとして公認資格者の年次登録を進めてきました。2022年度末（2023年5月末）公認資格者数590名に対して、2023年度スタートでの公認資格者数は548名と-42名（減少率7.1%、1年前は-40名）と減少が止まらない状況となっています。各種様式の提出では10月29日段階で153案件の開催を委嘱しました。中央研修会の状況は理事会時点で受講者が週末プラン51名、平日プラン23名となっています。

## ●競技報告

引き続き土屋さん競技部長をお願いし決定しました。

セッター養成検定会／研修会については

日時 2024年4月13～14日

場所 野沢温泉スキー場

宿泊 山ぼうし

## ●スノーボード部報告

2023—2024 シーズンテーマを「新しいスノーボード愛好者を仲間に」（スキー協会員の参加増を目指し）とし以下の日程が報告されました。

行事名	日程（予定案）	開催場所	参加人数
ベーシック・フェスタ & 講習会	1月7・8日	湯ノ丸高原	
テクニカル・クリニック・試乗 & 講習会	2月11・12日	湯ノ丸高原	
テクニカル・講習会 & 検定会	3月9・10日	柵池高原	
スノーボードファイナル（未定）	未定	未定	

## ●山スキー一部報告

「島崎新部長のもと、山スキーリーダーの活躍で全国2大行事・パウダーフェス柵池（1月）、交流山スキー立山（5月）の成功、会員拡大と世代交代、気候危機打開に取組み、2025年山スキー部創設50周

年記念事業を盛大に取り組もう」を合言葉に組織・運営・人事・事業の再編成・その他の5項で、取り組みの重点が7項目示されています。

#### ◎全国山スキー部主催行事

① 2024年1月6～8日 パウダーフェス in 梅池

② 2024年5月4～5日 立山大滑降

## ●メイト局報告

1. 読者を増やす。2. 会員の要望に応える。3. 編集部の強化について。4. 読者数・印刷部数について報告がありました。

## ●環境・安全対策局

傷害対策基金・救出基金・賠償保険 加入者数の報告と傷害・救出基金についての説明と賠償保険についての説明がありました。

質疑応答では愛知スキー協から「第50回全国スキー・スノーボード大会」への要望書が提出され、オブザーバーで参加した寺田さんから説明を受けました。主な内容としてはSL競技を復活させて欲しいとの事でした。

実行委員会で議論された内容として①今まで競技に関心がなかった人や初めて競技に参加する人、未就学児などが参加し易い敷居の低い大会を目指そう。②スノーボードが2日間参加できる種目にしよう

③前回49回大会では参加者が少なく約49万円の赤字を出している。今回は会員外にも広く呼びかけて参加者を増やし黒字化を目指そう。④日曜日は遠方からの参加者に配慮してなるべく早く終わるようにしよう。⑤参加者同士が交流できる楽しい企画を考える⑥安全に配慮してけが人を出さない⑦会員外の選手が参加しても満足できる大会にし、会員拡大になるように等が意思統一され種目について議論をした結果GS4本にする事にした事を説明しました。

各都道府県からの組織アンケートについての追加発言をして頂いた後に質問・討論を行いました。発言が少なかったのは運営側での工夫を検討しなければいけないと感じました。

討論終了後に採決を行い反対0、保留2、賛成30で議案は承認されました。

# 全国スキー協第33期第8回常任理事会報告

日時 2023年11月20日 20:00～

これからの日程（常任理事会は毎月第4木曜日と第3月曜日で交互開催）

- 11月20日 山スキー部会
- 11月25～26日 全国技術部会
- 12月 2日 スポーツ連盟全国理事会 小川欠席
- 12月 2～3日 中央研修会週末コース
- 12月 4～5日 中央研修会平日コース
- 12月18日 第9回常任理事会 20:00～ZOOM
- 1月 6～8日 山スキー パウダーフェス梅池
- 1月27～28日 デモ選・STC北海道

#### ◎報告・討議事項

愛知県からの競技大会への要望書にたいする文書回答についての議論

文書での回答を求められているので文書を作成し全国理事にメール配信する事になった。

中央研修会の参加状況の報告ではなんとか黒字になりそうとの報告。

常任理事会の日程変更。第4木曜日と第3月曜日で交互開催する事になった。

全国理事会の内容を論議。「理事からの発言を促すような運営が必要」「全国スキー協ホームページのリニューアルが組織拡大のアイテムとして重要」との認識で一致。

# 第29回池田杯スキー競技大会開催要項

- 期日 2024年2月10・11(土・日)  
 会場 魚沼須原スキー場 アドベンチャーコース  
 種目 大回転(2走1採用)・回転(2走1採用)の複合競技(大回転・回転とも速いタイムの合計で順位を決定)  
 大会日程 2月10日(土)大回転、2月11日(日)回転(両日とも午前練習・午後大会)  
 クラス 女子ジュニアの低学年以下部(小学生3年生以下)→男子ジュニア低学年以下の部(小学生3年生以下)→女子ジュニア高学年の部(小学3年から6年生)→男子ジュニア高学年の部(小学生4～6年生)→女子の部・男子の部・女子シニアの部(60歳以上)・男子シニアの部(60歳以上)・男子グランドシニアの部(70歳以上)・女子グランドシニアの部(70歳以上)  
 競技規則 全国スキー協競技規則に順じたローカルルールによる(旗門員は設けず、スタート及びゴール役員にて判定)  
 タイム計測方法 手動電波計測  
 スキー用具・ウェア等の規制なし、但し、ヘルメット等の防具の着用を推奨します。

日 程 (11・12日とも同じ日程)	8:30 ~ 9:30	受付(センターハウス2F内にて)
	9:00 ~ 9:30	11日大回転・12日回転練習用ポールセット
	9:30 ~ 9:50	インスペクション(コースの下見です。ゼッケンを着用して行ってください)
	10:00 ~ 11:00	11日大回転ポール練習 12日回転ポール練習
	12:00 ~ 12:30	11日大回転大会用ポールセット 12日回転大会用ポールセット
	12:30 ~ 12:50	インスペクション(コースの下見です。ゼッケンを見えるように着用して行ってください)
	13:00 ~ 15:00	大回転・回転とも2本目はセット替えせず2走1採用)
16:00 ~ 16:30	表彰式(センターハウス2Fにて)	

コース整備は随時参加者全員でお願いします。

- 【 賞 】 各部1位 賞状・トロフィー・賞品(トロフィーは持ち回り)  
 各部2位・3位 賞状・賞品  
 その他 中間賞・全員に参加賞  
 団体一位 賞状・トロフィー(トロフィーは持ち回り)

【エントリー費】 1種目 2,500円(但し、ジュニアは1,000円)選手以外で表彰式に参加の方は参加賞代300円をお願いします。

【主 催】 群馬県勤労者スキー協議会

【部及びスタート順】 前走→女子ジュニア低学年以下の部→男子ジュニア低学年以下の部→女子ジュニア高学年の部→男子ジュニア高学年の部→女子グランドシニアの部(70歳以上)→男子グランドシニアの部(70歳以上)→女子シニアの部(60～69歳)→男子シニアの部(60～69歳)→女子の部→男子の部

【スタート順】 2月5日の抽選による。以降の申し込みは申し込み順、当日エントリー可(但し、当日参加者には参加賞は出ません)

申し込み先 荻原正治 前橋市古市町293-4 tel&fax 027-253-2753 Eメール:ogiwara-ma@jcom.home.ne.jp

携帯 090-7185-3468

宿泊希望者は1月22日までに申し込みをお願いします。大会のエントリーは2月5日までにお願いします。

宿泊先 民宿 小西屋 〒946-0216 新潟県魚沼市須原932 電話:025-797-2134

## 申込書

11日(土)大回転	参加	不参加	11日の宿泊	1泊2食付き	半泊朝食付き	素泊り	宿泊なし
12日(日)回転	参加	不参加	※ 選手参加の方は該当するところに○ 選手以外の方は口を付けてください。				

## 池田杯申込書

氏 名			所 属				
電話番号			公認資格番号	(スキー協指導員は応用技術研修修了となります。)			
住 所			出場クラス				
生年月日	年	月	日	大会当日年齢	歳		
選手以外で表彰式に参加希望者氏名							
お問い合わせ							